

政務活動費収支報告明細書

研究研修費・調査旅費

実績報告書 No. 2020-0825	項目	研究研修費・調査旅費 (該当する項目を○で囲む)		
	期間	2020(R2)年 8 月 25 日 から 8 月 25 日まで		
	研究研修名 ・ 場所等	夏の自治体議員 研修セミナー		
		主催:NPO法人 区画整理・再開発対策 全国連絡会議 江東区文化センター3階大研修室(江東区東陽町) 自宅でZoomで参加		
	参加者	1 人		
		川村つよし		
	経費	研究研修費	5,000 円	調査旅費
実績報告書 No. 20201022	項目	研究研修費・調査旅費 (該当する項目を○で囲む)		
	期間	2020(R2)年 10 月 21 日 から 10 月 22 日まで		
	研究研修名 ・ 場所等	第25回 清溪セミナー		
		日本青年館 8F カンファレンスルーム (オンライン受講・自宅および会派室にて受講)		
	参加者	1 人		
		川村つよし		
	経費	研究研修費	24,220 円	調査旅費
実績報告書 No.	項目	研究研修費・調査旅費 (該当する項目を○で囲む)		
	期間	年 月 日 から 月 日まで		
	研究研修名 ・ 場所等			
	参加者	人		
		(氏名等)		
	経費	研究研修費	円	調査旅費
実績報告書 No.	項目	研究研修費・調査旅費 (該当する項目を○で囲む)		
	期間	年 月 日 から 月 日まで		
	研究研修名 ・ 場所等			
	参加者	人		
		(氏名等)		
	経費	研究研修費	円	調査旅費

項目別合計 (最終ページに記載)	研究研修費	29,220 円	調査旅費	円
---------------------	-------	----------	------	---

講義Ⅰ 「少子化対策～自治体からの検証・提言」

講師：泉 房穂（明石市長）

9年間で人口が毎年1000人増えているが、その増えている中身は乳幼児と20代後半から30代の若い親世代が中心。

子育てをしやすいまちを目指した様々な取組が、相乗効果として現れているように思える。

市長が弁護士資格を持つだけでなく、これまでに専門職として12名の弁護士を採用している。他の資格と同様に資格手当を出すだけで、高額な給与を払っているわけではない。

明石市については、以前、議会質問でも取り上げた覚えがある。貧困家庭にとって、収入の波が問題になるため、児童扶養手当を毎月支給にしたい。という取組みがガバナンスに掲載され、それを紹介したように思う。

国の制度とは異なることを行おうとすれば、法律的に反論できる組立てが必要になるが、弁護士資格者の採用は、そのような挑戦を法的に支えるための、必要なスタッフではないかと思えた。

コロナ対策の取組みも参考になると思えたが、今回のような突発的な出来事への対応を、即断していくためには、施策の可否に対する、哲学のようなものがないとできないのではないかと思えた。トップの資質の問題だと思う。

講義Ⅱ

－2「住民自治組織が担う地域の未来-福知山市三和地域協議会の挑戦-」

講師：岡部成幸（三和地域協議会事務局長）

－1「少子化、地方創生、地域社会の連携」

講師：杉岡秀紀（福知山公立大学准教授）

過疎地の話題のように思えず研修当日は関心が湧かなかったが、YouTubeで提供された録画を見直したところ、直接的に尾張旭市で施策を展開することにはならないにしても、尾張旭市とつながりを持った、他市町とどのように付き合っていくか、ヒントになるのではないかと思直した。

あさひ苑のある長野県阿智村、震災で支援し滝桜を頂いた福島県三春町、災害時の協定を結んでいる石川県輪島市など、お付き合いのある他市町と一緒に組み立てる施策の参考になるかもしれない。

講義Ⅲ

パネルディスカッション「with コロナの時代を見据えて—地方からの行政改革、議会改革」

パネリスト 中川智子（宝塚市長）、ピアンキ・アンソニー（前犬山市議会議長）

犬山市議会のフリースピーチ制度について紹介があった。この制度については、以前も別の研修会で聞いた覚えがある。フリースピーチ制度の好例を動画で紹介された（中学校の制服について、児童の問題提起を受け、制服の見直しにつながった。）ことがわかりやすかった。尾張旭市でも、検討してみたい取り組みだとは思いますが、陳情や請願の趣旨説明制度で行っていることと、本質的には同じだと思うが、委員会室で発言するか、議場で登壇して発言するかの違いは、発言者には大きいのかもしれない。

講義Ⅳ

「新型コロナ感染拡大と今後の地域経済～支えあいから再興へ～」

講師：吉原毅（城南信用金庫顧問）

営農型太陽光発電について関心を持った。尾張旭でも取り組めないか考えてみたい。

講義Ⅴ

「民主主義とメディア～新型コロナ禍の中で～」

講師：望月衣塑子（東京新聞記者）

主に国政に関わる話。

今後の活用計画について

講義Ⅳの太陽光発電については、議会質問で12月にも取り上げたいと思う。

コロナ対策について言えば、明石市の取組みは参考になりましたが、事業を実施するタイミングの問題もあり、すぐに尾張旭市の取組につながるかどうか、分からない。

オンラインセミナーについて

今回、1日目は午前中に議会広報委員会があり、午後からの受講。（予定通り）

2日目は、午前中、翌日の議会運営委員会の進行について、打ち合わせの予定が入ったため、午前中は会派室で受講。オンラインでなければ対応できなかったと思う。

一方、後で録画を見ることができるといった容易さから、予定を入れてしまうのも問題があると思う。また、清溪セミナーの開会時に主催者が話していたが、受講者を100人までに、これまでも制限しているのは、参加者同士の交流・情報交換も行うためということだった。

参加者の交流が難しいという話は、Zoomの解説本にも欠点として書かれていたが、その通りだと思う。

住民主体の地方自治を進めるために

第25回 SEIKI SEMINAR 清溪セミナー

2020年10月21日[水]～10月22日[木]

日本青年館ホテル8Fカンファレンスルーム

主催：清溪セミナー実行委員会 共催：一般財団法人日本青年館

1日目 10月21日[水]

13:00～15:00 講義 I

少子化対策～自治体からの検証・提言

講師：泉房穂氏(明石市長)



東京大学教育学部卒業後、NHKを経て弁護士登録、衆議院議員を経て社会福祉士資格取得。2011年5月現職。「こどもを核としたまちづくり」を掲げ市の人口をV字回復。



聞き手：小林美希氏(ジャーナリスト)

地方の少子化や人口減少が深刻さを増す中、明石市が取り組んできた子育て支援や保育士支援、待機児童問題の解消や子育て環境の改善など先進事例をお聞きし、次世代へ希望をつなぐための自治体運営を伺う。

15:20～17:40 講義 II-1

少子化、地方創生、地域社会の連携

講師：杉岡秀紀氏(福知山公立大学地域経営学部准教授)



専門は公共政策、地方自治。内閣官庁行政改革推進本部事務局参事官付、京都府立大学公共政策学部講師を経て2016年から現職。

新型コロナウイルスの混乱が続く一方で、都市一極集中、通勤ラッシュ、大部屋方式、ハンコ文化、対面授業(会議)、選挙のあり方等、これまでの「常識」を根本から見つめ直す機会にもなっている。働き方のみならず副業・プロボノ・関係人口などを活用したポストコロナ時代の「私」から始まる公共と地域協働のあり方について伺う。

15:20～17:40 講義 II-2

住民自治組織が担う地域の未来 —福知山市三和地域協議会の挑戦—

講師：岡部成幸氏(三和地域協議会事務局長)



京都市三和町役場入職。「自治体情報化共同事業」や「新市建設計画」策定等に従事。06年に福知山市に編入後、まちづくり推進課長などを歴任し、定年退職後現職に。

地域住民自治の仕組みを取り入れ、地域生活交通確保、移住・定住促進、地域振興イベント、福知山公立大学連携などに取り組む三和地域協議会の活動を報告。

※新型コロナウイルス感染状況を含めた社会情勢および主催者の都合によりよりプログラムが変更となる場合がございます。予めご了承ください。

2日目 10月22日[木]

9:00～11:00 講義 III

パネルディスカッション with コロナの時代を見据えて 「地方からの行政改革、議会改革」

パネリスト

中川智子氏
(宝塚市長) (予定)



パネリスト

ピアンキ・アンソニー氏
(犬山市議会議長) (予定)



コーディネーター/コメンテーター
福岡政行先生(常任講師・東北福祉大学特任教授)

市民の声に向き合い「命を大切に、支え合いのまち」を実現してきた宝塚市の取り組みや、議会の権限を最大限に権限させ、住民の役に立つ機関をめざして議会改革に取り組んできた犬山市の取り組みを伺い、住民との対話、議員同士の討議が「地方行政や議会の改革」に果たす役割を明らかにする。また、本セミナーの常任講師の福岡政行先生には、進行と合わせてコロナ時代の地方議会について提言をいただく。

11:15～12:30 講義 IV

新型コロナ感染拡大と今後の地域経済 ～支えあいから再興へ～

講師：吉原毅氏(城南信用金庫顧問・麻布学園理事長)



東日本大震災後、被災地支援を精力的に行うと同時に原発に頼らない安心できる社会を目指して「脱原発」を宣言。17年に全国編成「原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟」を創設。

新型コロナウイルス感染拡大が深刻な影響を及ぼす中、「人と人をつなぎ、地域を守る」との理念で地域経済と向き合ってきた経験や、未曾有の危機に直面する地域経済の再生に向けた提言を伺う。

12:30～13:50 昼食・全国情報交換会

14:00～15:15 講義 V

民主主義とメディア ～新型コロナ渦の中で～

講師：望月衣塑子氏(東京新聞記者)



東京地検特捜部、東京地裁・高裁担当などを経て、社会部記事記者として昭南舎の武器輸出、軍事共同などをテーマに取材。17年から森友・加計問題取材チームの一員となり、取材をしながら百講長官会見で質問し続ける。

豪華客船「ダイヤモンド・プリンセス」の感染拡大から始まったコロナ禍で、オリパラ開催に固執し続けた安倍政権は自衛要請への対応が遅れ、その後も、アベノマスクなど失策が続く。官邸の「守護神」と言われた黒川弘務・東京高検前検事長の定年延長は、違法状態で閣議決定するというウルトラCをやったのけたが、世論の強い反発を買い、検察庁法改正案は見送りに。賭けマージャン報道で黒川氏は辞任に追い込まれた。97万人の失業者が溢れる中、「火事場泥棒」的な政府の行為など、浮き上がってきた様々な安倍政権の問題に切り込む。

15:15～15:30 閉会式

No. 26

領 収 書

2020年10月21日

愛知県

日本共産党尾張旭市議団 川村つよし 様

¥24,000. -

第25回清溪セミナー参加費として上記の金額を領収いたしました

清溪セミナー実行委員

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘

日本青年館

TEL 03-6452-9012





振込を正常に受け付けました。

振込情報 (受付番号: 20200928-005 / 受付日時: 2020年9月28日 08時48分)

振込予定日	2020年9月28日		
振込先口座	三井住友銀行 青山支店 普通 1310412	セイケイセミナー	ジツコ
	ウイインカイ	ダイヒヨウ	ヤマモト
振込金額	24,000円	引落口座	[REDACTED]
振込手数料	220円	振込依頼人名	カワムラ ヨシ
引落金額合計	24,220円	振込依頼人 電話番号	052-772-92**

Copyright(c) 2020 MUFG Bank, Ltd. All rights reserved.

Language

政務活動費実績報告書

研究研修費・調査旅費

実績報告書 No.2020-0825

項目	研究研修費・調査旅費 (該当する項目を○で囲む)		
期間	2020(R2)年 8月 25日 から 8月 25日まで		
研究研修名 ・ 場所等	夏の自治体議員 研修セミナー		
	主催:NPO法人 区画整理・再開発対策 全国連絡会議 江東区文化センター3階大研修室(江東区東陽) 自宅でZoomで参加		
参加者	1 人 川村つよし		
研究研修・調査の項目			
記念講演:コロナ危機下で都市開発はどこへ向かうか ーデジタル・ニューディールとコンパクト・スマート・スーパーシティー 講師:岩見良太郎 (埼玉大学名誉教授、NPO法人 区画整理・再開発対策 全国連絡会議 代表)			
講義:「雲をつかむような話」から「スケール感ある情報」を導く技術 ー再開発をどう想定するかー 講師:遠藤哲人 (NPO法人区画整理・再開発対策全国連絡会議事務局長 國學院大學経済学部兼任講師)			
	摘要	金額	備考
経 費 内 訳	会場使用料	円	
	講師料	円	
	交通費(公共交通機関)	円	
	交通費(タクシー)	円	
	交通費(レンタカー等)	円	
	道路通行料等	円	
	宿泊費	円	
	会費(出席者負担金)	5,000 円	
		円	
	計	5,000 円	

《内容及び今後の活用計画は裏面記載》



内 容

記念講演では、コロナ危機や水害が、都市再開発事業にどのように影響しているかなどの最新情報を聞くことができた。数年前から、東京の再開発が活発に行われている話は耳にしていたが、2000年頃からの国策を背景として、東京一極集中を招いてきたことなどがわかる。一方、コロナ危機の影響で、リモートワークや地方移住などの意識に変化が出ていることなども紹介された。紹介された再開発は、大規模なものがほとんどであるなど、尾張旭市の三郷駅の再開発事業と比較するのは難しいと思われる。

講義では、再開発事業の情報はなかなか入手することも難しいが、地価や周辺の不動産価格などから、再開発事業に要する金額を推定する手法が紹介された。情報公開請求しても、黒ぬりばかりの相手に対する対抗策です。手法については、なるほどと思うものの、かなり手間のいる作業になりそうで、自分ではやる気にならない。やるなら委託にでもだそうかと思うが、やる気にならない他の理由として、尾張旭市の例では、規模から言えば企業にとって、そこまでうまみのある事業になると思えないこと、その方法が必要になるほど市が情報を隠し続けると思えないためだ。いずれにしても、不案内だった再開発事業について、まとまった話が聞けたことは大きな収穫だった。

今後の活用計画

2020年9月議会の質問通告に、研修で得た知識を反映できた。この研修を受けていなければ、三郷駅周辺まちづくり事業に対して、3つの大型事業を合わせたものであるとの理解に、至っていなかったと思う。得られた知識は、今後の質問にも活かしていけると思う。

Zoomによる研修について

主催者側も、まだ慣れていない様子で、研修開始が20分ほど遅れる、他のZoom参加者も不慣れなことがあったが、大きなトラブルにはならず、ホッとした。世の中全体が慣れるまで時間がかかると思われるが、今後の研修手法の選択肢になってゆくと思う。

なによりも安価で済むのが大きなメリットで、講座参加料が半額(これは主催者側が決めるのでいつも半額ではないでしょうが)、交通費不要、宿泊も不要だ。

受講者側の機材については、モニターが2つあった方が良いと思われる。1画面は、現地でスクリーンに表示される資料表示、もう一つは、会場全体や講師の身振り手振りを映す画面。

注意点として、受講する側の心構えの問題で、宿泊や移動をとまなう研修であれば、会場に向かうなかで、受講に向けてスイッチを入れるというか、「かまえ」を作っていくが、自宅でPCなどのスイッチを入れれば受講可能になるというのは、気持ちの準備を、どのように整えていくのか、感覚が違うと思えた。

領収書等貼付用紙

きりとり

2020年07月22日

日本共産党 尾張旭市議団 様

領 収 書

金 5,000 円

但し 川村つよし様の8月25日自治体議員研修セミナー
負担金としてUFJ口座にて領収しました。
(Zoom) 出席

特定非営利活動法人

区画整理・再開発対策全国連絡会議

162-8512 新宿区矢来町 123 安来ビル4F

TEL03-5261-4031 FAX03-5261-4032

金額 5000 円

日付 2020 年 7 月 22 日

《注意事項》

- ①領収書等は、見やすく、かつわかりやすくするため日付順とし、重ならないよう貼付してください。
- ②両面印刷されているものは、裏面も確認できるように上部又は左端のみのりづけしてください。
- ③A4用紙以上のものは、そのまま貼ってください。